

Docket No. 204571US2

IN RE APPLICATION OF: Tohru KANNO

SERIAL NO: 09/816,220

RCE FILED: December 22, 2005

FOR: METHOD, APPARATUS AND COMPUTER PROGRAM PRODUCT FOR INITIALIZING IMAGE PROCESSING APPARATUS



S fm

2625 cc
S

COMMISSIONER FOR PATENTS
ALEXANDRIA, VIRGINIA 22313

SIR:

Transmitted herewith is an amendment in the above-identified application.

- No additional fee is required
 Small entity status of this application under 37 C.F.R. §1.9 and §1.27 is claimed.
 Additional documents filed herewith: Information Disclosure Statement, PTO 1449 Form, Notice of Reason of Rejection, Cited References (3)

The Fee has been calculated as shown below:

CLAIMS	CLAIMS REMAINING		HIGHEST NUMBER PREVIOUSLY PAID	NO. EXTRA CLAIMS	RATE	CALCULATIONS
TOTAL	29	MINUS	32	0	x \$50 =	\$0.00
INDEPENDENT	15	MINUS	16	0	x \$200 =	\$0.00
APPLICATION SIZE		MINUS	100	0 (each addtl. 50 sheets)	x \$250 =	\$0.00
<input type="checkbox"/> MULTIPLE DEPENDENT CLAIMS					+ \$360 =	\$0.00
TOTAL OF ABOVE CALCULATIONS						\$0.00
<input type="checkbox"/> Reduction by 50% for filing by Small Entity						\$0.00
						TOTAL
						\$0.00

- A check in the amount of \$0.00 is attached.
 Credit card payment form is attached to cover the fees in the amount of \$180.00 (IDS Fee)
 Please charge any additional Fees for the papers being filed herewith and for which no check or credit card payment is enclosed herewith, or credit any overpayment to deposit Account No. 15-0030. A duplicate copy of this sheet is enclosed.
 If these papers are not considered timely filed by the Patent and Trademark Office, then a petition is hereby made under 37 C.F.R. §1.136, and any additional fees required under 37 C.F.R. §1.136 for any necessary extension of time may be charged to Deposit Account No. 15-0030. A duplicate copy of this sheet is enclosed.

OBLON, SPIVAK, McCLELLAND,
MAIER & NEUSTADT, P.C.



Gregory J. Maier

Registration No. 25,599

Customer Number

22850

Tel. (703) 413-3000
Fax. (703) 413-2220
(OSMMN 05/03)

Surinder Sachar
Registration No. 34,423

整理番号 9908311
発送番号 381662
発送日 平成17年10月12日

NOTICE OF REASON OF REJECTION

拒絶理由通知書

特許出願の番号 特願2000-083646
起案日 平成17年10月 7日
特許庁審査官 宮島 潤 8420 5V00
特許出願人代理人 根本 恵司様
適用条文 第29条第2項、第36条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理由

A. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

請求項：1, 7, 13

引用文献番号：1～2

備考：

引用文献1には、シャットダウン状態からの復帰の際に、他のモジュールの初期化と並行して、スキャナの初期化を行うことが記載されており、スキャナの初期化には、スキャナのホーミングが含まれることは、引用文献2にも示されているように周知技術である。

また、引用文献2には、電源投入の際に、他のモジュールの初期化と並行して、スキャナのホーミング処理を行うことが記載されている。

請求項：2, 8, 13

引用文献番号：1～3

備考：

引用文献1には、シャットダウン状態からの復帰の際に、他のモジュールの初期化と並行して、独自にスキャナの初期化を行うことが記載されており、スキャナの初期化には、スキャナのホーミングが含まれることは、引用文献2にも示されているように周知技術である。

また、引用文献2には、電源投入の際に、他のモジュールの初期化と並行して、スキャナのホーミング処理を行うことが記載されている。

さらに、引用文献3には、本体制御部からの命令により初期化を行うことが記載されている。

そして、引用文献1には、復帰の際に、初期化するモジュールを選択することが記載されており、この技術を引用文献2及び3に記載の技術に適用して、独自に初期化するモジュールと、本体制御部からの命令により初期化を行うモジュールとを選択することは、当業者が容易に成し得たことと認められる。

請求項：3, 9, 13

引用文献番号：1～3

備考：

引用文献1には、シャットダウン状態からの復帰の際に、他のモジュールの初期化と並行して、独自にスキャナの初期化を行うことが記載されており、スキャナの初期化には、スキャナのホーミングが含まれることは、引用文献2にも示されているように周知技術である。

また、引用文献2には、電源投入の際に、他のモジュールの初期化と並行して、スキャナのホーミング処理を行うことが記載されている。

さらに、引用文献3には、本体制御部からの命令により初期化を行うことが記載されている。

そして、引用文献1には、復帰の際に、ユーザが使用するサービスに対応するモジュールのみを選択的に独自に初期化することが記載されており、この技術を引用文献2及び3に記載の技術に適用して、ユーザが使用するサービスに対応するモジュールのみを独自に初期化し、それ以外のモジュールを本体制御部からの命令により初期化するようにすることは、当業者が容易に成し得たことと認められる。

請求項：4, 10, 13

引用文献番号：1～3

備考：

引用文献1には、複数の機能別のモジュールと、提供するサービスとをそれぞれ対応させて管理することが記載されており、このものでは、この対応関係（特に、【図3】参照）が、何らかの形で、不揮発性の記憶手段に記憶されていることが、明らかである。

請求項：5, 11, 13

引用文献番号：1～3

備考：

引用文献1には、シャットダウン状態からの復帰の際に、他のモジュールの初期化と並行して、独自にスキャナの初期化を行うことが記載されており、スキャナの初期化には、スキャナのホーミングが含まれることは、引用文献2にも示されているように周知技術である。

また、引用文献2には、電源投入の際に、他のモジュールの初期化と並行して、スキャナのホーミング処理を行うことが記載されている。

さらに、引用文献3には、本体制御部からの命令により初期化を行うことが記載されている。

そして、引用文献1には、復帰の際に、ユーザが使用するサービスに対応するモジュールのみを選択的に独自に初期化することが記載されており、この技術を引用文献2及び3に記載の技術に適用して、ユーザが使用するサービスに対応するモジュールのみを独自に初期化し、それ以外のモジュールを本体制御部からの命令により初期化するようにすることは、当業者が容易に成し得たことと認められる。

なお、電源投入時に、本体側のプログラムによって各モジュールを初期化することは、通常、行われていることである。

請求項：6, 12, 13

引用文献番号：1～3

備考：

引用文献1（特に、【図3】参照）には、提供するサービスとして、コピーサービス（本願発明の「コピー機能」に相当する）、ファックスサービス（本願発明の「ファクシミリ機能」に相当する）、プリンタサービス（本願発明の「プリンタ機能」に相当する）、スキャナサービス（本願発明の「ファイル機能」に相当する）が記載されている。

引用文献等一覧

1. 特開平10-341311号公報

（画像形成装置が各パワーセーブ状態から使用可能な状態に遷移するまでの処理を初期化と呼ぶこと、及び、複写機やファックス、プリンタ等の複数の機能を搭載した画像形成装置（複合機）は、サブシステム毎にモジュール化されており電源投入時には全てのモジュールの初期化が、また、節電機能によるパワーセーブ状態の解除時にはパワーセーブ状態にあったモジュールの初期化が行われること（特に、第3頁右欄段落【0007】～段落【0008】参照）、複数の機能別のモジュールを具備し、該複数のモジュールのうち少なくとも1つを利用して複数のサービスを提供する画像形成装置において、モジュールをモジュール毎に初期化する初期化手段と、モジュールとサービスとをそれぞれ対応させて管理する管理手段とを具備し、管理手段が管理するサービスに対応するモジュール毎にモジュールを初期化すること（特に、第4頁左欄段落【0013】参照）、モジュールの全てが節電手段により電源を切断または電力供給量を少なくされている状態から、ユーザが使用するサービスに対応するモジュールのみを選択的に初期化すること（特に、第4頁右欄段落【0019】参照）、複合機100は所定の条件、例えば、所定の時間ユーザによる使用がなかった場合などの条件を満たすと、節電機能が動作してパワーセーブ状態に移行し、このパワーセーブ状態から復帰する場合や電源を投入した場合には、複合機100を構成する各部のうちパワ

一セーブ状態にあった部分あるいは全ての初期化が行われること（特に、第5頁右欄段落【0037】参照）、及び、スキャナは画像読取制御部8の初期化終了で画像の読み取りが可能となること（特に、第6頁左欄段落【0043】参照）が記載されている。）

2. 特開平5-27496号公報

（停電後の電源復旧に伴う給電再開時の電源立上げ時には、まず、コピーモードの初期化、周辺機やスキャナ等のホーミング処理、定着ヒータなどの各負荷のオン等の処理が行われることが記載されている。特に、第13頁右欄段落【0096】、【図1】参照。）

3. 特開平9-238209号公報

（イメージスキャナ200において、ホストコンピュータ100からページ記述言語をホスト1/F211で受け取ると、まず、初期化処理を行うことが記載されている。特に、第3頁右欄段落【0010】、【図3】参照。）

B. この出願は、明細書及び図面の記載が下記 1-2 の点で不備と認められるから、特許法第36条第4項及び第6項に規定する要件を満たしていない。

記

1. 特許請求の範囲の記載は全体的に不明瞭であって、本願発明の構成を明確に表していない。例えば、下記の記載は不明瞭である。

(1) 請求項1、請求項2について

- 「前記直接制御部によるホーミング」（直接制御部による、何の「ホーミング」をさしているのかが、明確になっていない。）

(2) 請求項3について

- 「前記直接制御部によるホーミング」（直接制御部による、何の「ホーミング」をさしているのかが、明確になっていない。）
- 「電源投入後及びシャットダウン状態からの復帰の際に前記直接制御部によるホーミングを、前記複数の異なるファンクションの中にスキャナを必要としないファンクションが有る場合に画像処理装置の本体制御部からの命令により行い」（「スキャナを必要としないファンクションが（少なくとも一つ）有る場合」には、それ以外に「スキャナを必要とするファンクション」が存在する可能性があるから、「スキャナを必要としないファンクションが（少なくとも一つ）有る」というだけで、直接制御部によるホーミングを、画像処理装置の本体制御部からの命令により行うのは、不適切である。）

(3) 請求項4について

- 「複数の異なるファンクションそれぞれの有無」及び「各ファンクションの有無」（何を表しているのかが明確になっていない。）

(4) 請求項5について

- 「複数の異なるファンクションそれぞれの有無」及び「各ファンクションの有無」（何を表しているのかが明確になっていない。）
- 「前記揮発性メモリに記憶された中にスキャナを必要としないファンクションが有る場合に画像処理装置の本体制御部からの命令により行い」（スキャナを必要としないファンクションが（少なくとも一つ）有る場合」には、それ以外に「スキャナを必要とするファンクション」が存在する可能性があるから、「スキャナを必要としないファンクションが（少なくとも一つ）有る」というだけで、直接制御部によるホーミングを、画像処理装置の本体制御部からの命令により行うのは、不適切である。）

(5) 請求項6、請求項12について

- 「前記複数の異なるファンクションとして、コピー機能以外に……の中の少なくとも一つが含まれることを」（請求項6の第1行）（「複数の異なるファンクション」として「コピー機能」が含まれるのか否かが、明確になっていない。）

(6) 請求項9について

- 「検知した中にスキャナを必要としないファンクションが有る場合に機械的走査を行う直接制御部によるスキャナのホーミングを画像処理装置の本体制御部からの命令により行う」（「スキャナを必要としないファンクションが（少なくとも一つ）有る場合」には、それ以外に「スキャナを必要とするファンクシ

ヨン」が存在する可能性があるから、「スキヤナを必要としないファンクションが（少なくとも一つ）有る」というだけで、直接制御部によるホーミングを、画像処理装置の本体制御部からの命令により行うのは、不適切である。)

(7) 請求項 1 1について

- 「前記揮発性メモリに記憶された中にスキヤナを必要としないファンクションが有る場合に画像処理装置の本体制御部からの命令により行い」（スキヤナを必要としないファンクションが（少なくとも一つ）有る場合）には、それ以外に「スキヤナを必要とするファンクション」が存在する可能性があるから、「スキヤナを必要としないファンクションが（少なくとも一つ）有る」というだけで、直接制御部によるスキヤナのホーミングを、画像処理装置の本体制御部からの命令により行うのは、不適切である。）

2. 発明の詳細な説明の項及び図面の下記の記載は不明瞭である。

- 段落【0019】（2箇所）の「書込部3以降の紙出力処理」（何を表しているのかが明確になっていない。）
- 段落【0030】（2箇所）、段落【0031】、段落【0035】の「各ファンクションの有無」、段落【0035】の「ファンクションの有無」、段落【0035】、段落【0038】の「現在のファンクションの有無」、段落【0036】（2箇所）の「ファンクション有無」（何を表しているのかが明確になっていない。）
- 段落【0031】の「スキヤナを必要としないファンクションがあった場合、何もせず、その後、本体メイン制御板116からの命令待ちの状態となる」（「スキヤナを必要としないファンクションが（少なくとも一つ）あった場合」には、それ以外に「スキヤナを必要とするファンクション」が存在する可能性があるから、「スキヤナを必要としないファンクションが（少なくとも一つ）あった」というだけで、本体メイン制御板116からの命令待ちの状態となるのは、不適切である。）
- 段落【0033】の「スキヤナを必要としないファンクションがあった場合、本体メイン制御板116は、指示された動作モードにスキヤナ動作が必要かを判断し」（何を表しているのかが明確になっていない。特に、「（スキヤナを必要としない）ファンクション」と「（スキヤナ動作を必要とする）動作モード」との関係が明確になっていない。）
- 段落【0034】の「スキヤナを必要としないファンクションがあった場合には、本体の初期化処理後に本体からの命令により行う図12（B）の動作を選択する」（「スキヤナを必要としないファンクションが（少なくとも一つ）あった場合」には、それ以外に「スキヤナを必要とするファンクション」が存在する可能性があるから、「スキヤナを必要としないファンクションが（少なくとも一つ）あった」というだけで、ホーミング動作を、本体の初期化処理後に本体からの命令により行うのは、不適切である。）
- 段落【0036】の「その中にスキヤナを必要としないファンクションが有る場合に本体メイン制御板116からの命令により行い」（「スキヤナを必要としないファンクションが（少なくとも一つ）有る場合」には、それ以外に「スキヤナを必要とするファンクション」が存在する可能性があるから、「スキヤナを必要としないファンクションが（少なくとも一つ）有る」というだけで、ホーミング動作を、本体メイン制御板116からの命令により行うのは、不適切である。）

先行技術文献調査結果の記録

- 調査した分野 I P C 第7版
H 04 N 1 / 04 - 1 / 207
G 03 G 15 / 00, 303
G 03 G 21 / 00, 370 - 21 / 00, 540
G 03 G 21 / 02
H 04 N 1 / 00 - 1 / 00, 108

・先行技術文献

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。